



2021年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 (株) マルカ

コード番号 7594 URL <http://www.maruka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 嶋林 直人 TEL 06-6450-6823

四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第1四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第1四半期	10,457	△34.4	115	△79.0	277	△55.5	182	△46.1
2020年11月期第1四半期	15,933	5.5	549	△3.5	623	2.9	338	△72.2

(注) 包括利益 2021年11月期第1四半期 237百万円 (△35.1%) 2020年11月期第1四半期 366百万円 (△70.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第1四半期	21.85	-
2020年11月期第1四半期	40.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年11月期第1四半期	40,715	23,234	55.2	2,696.56
2020年11月期	42,630	23,159	52.7	2,692.84

(参考) 自己資本 2021年11月期第1四半期 22,491百万円 2020年11月期 22,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	-	24.00	-	20.00	44.00
2021年11月期	-	-	-	-	-
2021年11月期（予想）	-	20.00	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	25,000	△10.1	300	△66.7	350	△65.0	350	△42.5	41.85
通期	53,000	△0.4	1,100	△24.6	1,200	△24.6	900	1.0	107.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）PT. UNIQUE SOLUTIONS INDONESIA、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期 1 Q	9,327,700株	2020年11月期	9,327,700株
② 期末自己株式数	2021年11月期 1 Q	987,036株	2020年11月期	990,636株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期 1 Q	8,339,984株	2020年11月期 1 Q	8,391,727株

（注）期末自己株式には「役員向け株式給付信託」及び「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式（2021年11月期第1四半期 239,850株、2020年11月期 143,450株）が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」及び「従業員向け株式給付信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数（四半期累計）の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、依然として厳しい状況にある中、設備投資や企業収益に持ち直しの動きがみられるものの、個人消費など一部に弱さが見られる状況にあります。政府による各種経済政策の効果やワクチン接種の開始等もあり、持ち直していくことが期待されるものの、当面は先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

海外においては、中国経済は緩やかに回復し、米国は底堅く推移するなど持ち直しの動きが見られますが、感染の再拡大が経済活動に与える影響によっては景気が下振れするリスクがあり、今後も十分に注視する必要があります。

このような状況の中で、当社グループは、「MARUKA UNIQUE SOLUTIONS '21 変革と創世 新たな時代の先駆者へ」を今年度のスローガンとして各種施策に取り組んでおり、前連結会計年度末には受注残高を大きく減らしたものの、当第1四半期連結累計期間に入って受注が回復傾向を示しました。

それらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,457百万円（前年同期比34.4%減）となりました。利益面につきましては、諸経費の削減等に努めたものの売上高の減少に伴う売上総利益の減少の影響もあり、営業利益は115百万円（同79.0%減）、経常利益は277百万円（同55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は182百万円（同46.1%減）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

[産業機械部門]

産業機械部門では、全般的な景気停滞による自動車関連業界を中心とした需要減少の影響及び営業活動の制限等により売上が大きく減少いたしました。

国内は自動車関連業界向けに工作機械の販売が減少いたしました。厳しい状況の中、成長戦略の柱として掲げております食品機械の売上が伸長いたしました。

米州では、精密機械・医療器具製造業界及び合成樹脂製品製造業界向けに射出成形機の販売が伸長いたしました。自動車関連業界向けに産業機械の販売が減少いたしました。

中国は営業活動の再開により回復基調にあり、アジア地域でもインドネシア及びマレーシアでの売上が伸長いたしました。

この結果、当部門の経営成績は売上高9,016百万円（前年同期比33.3%減）、営業利益は330百万円（同53.2%減）となり前年同期を下回りました。

[建設機械部門]

建設機械部門では、公共投資は底堅く推移しておりますが、民間設備投資は新型コロナウイルス感染症の影響により、新車の買い替え需要は減少いたしました。

この結果、当部門の経営成績は売上高1,428百万円（前年同期比40.7%減）、営業利益は37百万円（同67.1%減）となり前年同期を下回りました。

[その他]

当セグメントは、保険部門の経営成績を示しております。

当部門の経営成績は売上高12百万円（前年同期比10.2%増）となり、営業利益は5百万円（同34.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、総資産40,715百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,915百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（前期末比689百万円減）、電子記録債権の減少（同671百万円減）によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は17,481百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,989百万円減少いたしました。これは主に電子記録債務の減少（前期末比1,317百万円減）、短期借入金の減少（同690百万円減）によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末に純資産は23,234百万円となり、前連結会計年度末と比較して74百万円増加いたしました。これは主に資本剰余金の増加（前期末比37百万円増）、利益剰余金の増加（同12百万円増）自己株式の純減少額（同29百万円減）、その他有価証券評価差額金の増加（同39百万円増）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期通期の連結業績予想につきましては、2021年1月15日の「2020年11月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,850,859	10,332,610
受取手形及び売掛金	13,906,600	13,217,507
電子記録債権	2,501,355	1,829,637
有価証券	200,000	300,000
商品及び製品	3,418,041	3,210,821
仕掛品	439,564	461,923
原材料及び貯蔵品	126,050	119,255
その他	3,359,565	2,665,686
貸倒引当金	△89,177	△75,340
流動資産合計	33,712,860	32,062,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,577,618	3,560,505
減価償却累計額	△976,562	△988,287
建物及び構築物 (純額)	2,601,055	2,572,217
機械装置及び運搬具	906,074	898,739
減価償却累計額	△638,227	△645,385
機械装置及び運搬具 (純額)	267,847	253,353
工具、器具及び備品	502,453	509,803
減価償却累計額	△325,214	△331,713
工具、器具及び備品 (純額)	177,239	178,089
貸与資産	2,752,467	2,667,363
減価償却累計額	△1,602,775	△1,528,473
貸与資産 (純額)	1,149,691	1,138,889
リース資産	148,834	130,938
減価償却累計額	△114,096	△102,736
リース資産 (純額)	34,738	28,201
土地	2,321,748	2,320,153
建設仮勘定	—	2,177
有形固定資産合計	6,552,320	6,493,083
無形固定資産		
のれん	268,737	250,985
その他	238,813	236,308
無形固定資産合計	507,550	487,293
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,892	1,106,335
繰延税金資産	250,047	232,325
その他	456,908	418,211
貸倒引当金	△83,954	△84,038
投資その他の資産合計	1,857,894	1,672,834
固定資産合計	8,917,765	8,653,211
資産合計	42,630,626	40,715,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,554,860	6,493,968
電子記録債務	7,253,699	5,935,979
短期借入金	1,326,545	636,336
1年内返済予定の長期借入金	59,844	59,844
未払法人税等	97,781	94,512
賞与引当金	—	122,143
製品保証引当金	62,658	48,919
その他	2,648,146	2,750,408
流動負債合計	18,003,536	16,142,111
固定負債		
長期借入金	1,112,565	1,038,537
繰延税金負債	25,029	25,029
再評価に係る繰延税金負債	32,668	32,668
役員退職慰労引当金	55,104	58,229
役員株式給付引当金	59,295	34,839
退職給付に係る負債	44,614	41,249
その他	138,128	108,335
固定負債合計	1,467,405	1,338,889
負債合計	19,470,942	17,481,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,414,415	1,414,415
資本剰余金	1,398,498	1,435,898
利益剰余金	21,227,424	21,240,031
自己株式	△1,599,093	△1,629,016
株主資本合計	22,441,245	22,461,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126,164	165,821
繰延ヘッジ損益	△43	△2,313
土地再評価差額金	39,596	39,596
為替換算調整勘定	△112,831	△131,201
退職給付に係る調整累計額	△43,771	△42,092
その他の包括利益累計額合計	9,115	29,810
非支配株主持分	709,323	743,171
純資産合計	23,159,683	23,234,310
負債純資産合計	42,630,626	40,715,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
売上高	15,933,293	10,457,712
売上原価	13,772,677	8,916,802
売上総利益	2,160,616	1,540,909
割賦販売未実現利益戻入額	10,488	14,561
割賦販売未実現利益繰入額	4,438	5,776
差引売上総利益	2,166,665	1,549,694
販売費及び一般管理費	1,617,170	1,434,325
営業利益	549,495	115,369
営業外収益		
受取利息	17,142	15,154
受取配当金	13,875	6,628
固定資産売却益	13,390	20,999
為替差益	24,640	25,653
不動産賃貸料	11,637	11,853
助成金収入	—	72,867
雑収入	13,626	22,731
営業外収益合計	94,312	175,889
営業外費用		
支払利息	9,968	5,406
不動産賃貸費用	7,436	7,479
雑損失	2,759	694
営業外費用合計	20,165	13,580
経常利益	623,642	277,677
特別利益		
固定資産売却益	2,675	15,519
特別利益合計	2,675	15,519
特別損失		
固定資産除却損	245	1,449
特別損失合計	245	1,449
税金等調整前四半期純利益	626,072	291,748
法人税、住民税及び事業税	287,739	81,437
法人税等合計	287,739	81,437
四半期純利益	338,333	210,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	264	28,094
親会社株主に帰属する四半期純利益	338,068	182,216

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	338,333	210,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,704	39,706
繰延ヘッジ損益	1,048	△2,270
為替換算調整勘定	169,874	△11,640
退職給付に係る調整額	2,632	1,679
その他の包括利益合計	27,850	27,475
四半期包括利益	366,183	237,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,062	202,911
非支配株主に係る四半期包括利益	27,121	34,874

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,512,703	2,408,935	15,921,639	11,654	15,933,293	—	15,933,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,512,703	2,408,935	15,921,639	11,654	15,933,293	—	15,933,293
セグメント利益	706,207	112,884	819,091	4,297	823,389	△273,894	549,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△273,894千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機械	建設機械	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,016,399	1,428,470	10,444,870	12,842	10,457,712	—	10,457,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,016,399	1,428,470	10,444,870	12,842	10,457,712	—	10,457,712
セグメント利益	330,476	37,194	367,671	5,762	373,433	△258,064	115,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険の代理店業等を行っております。

2. セグメント利益の調整額△258,064千円は、各セグメントに帰属していない当社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。